我が市の家

昭和59年度予算と58年

財政事情の公表

市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年前期(10月～3月)、後期(4月～9月)に分けて、6月と12月に「富士市の財政」を公表しています。

今回は、昭和59年度予算と昭和58年度の財政状況（昭和58年10月～59年3月31日）をお知らせします。

生活優先の積極型予算

昭和59年度予算は、一般会計が418億円、企業会計を含む特別会計が261億2,874万8,000円で、総額679億2,874万8,000円。

58年度の当初予算と比較すると、一般会計が50億8,000万円増の13.8%の伸びを、企業会計を含む特別会計が15億7,967万円増の6.4%の伸びとなりました。

歳入面では、自主財源の根幹をなす市税収入が前年度対比8.6%、金額にして19億8,390万円の増加となりました。

しかし、国の所得税減税に始まる地方税への影響等、今後の動向は予断を許さない厳しい状況です。

歳出面については、行政需要の多様化に伴い、経費が増すなかで経常経費の節減に最大限の意を用い、市民のいのちと健康を守るための病院建設事業、国民健康保健事業及び老人保健医療事業の充実を初め、快適で住みよい豊かなまちづくりのための諸事業費を積極的に計上しました。

一般会計418億円はこのように使われます

(歳出)

項目	金額	説明
土木費	85億9,431万6,000円	道路をつくったり河川の整備に
衛生費	80億6,800万4,000円	ごみ処理や病気の予防に
教育費	70億9,479万9,000円	学校の整備や社会教育などに
民生費	54億2,770万7,000円	社会福祉などに
総務費	36億9,412万8,000円	庁舎管理や広報紙の発行などに
公債費	31億6,262万円	借りたお金を返すために
消防費	14億6,060万円	火災などから命や財産を守るために
労働費	13億5,889万8,000円	働く人たちのために
商工費	11億9,318万9,000円	商業や工業発展のために
農林水産費	11億761万7,000円	農業や水産業のために
その他	6億3,812万2,000円	
合計	418億円	

計算です
度の財政状況

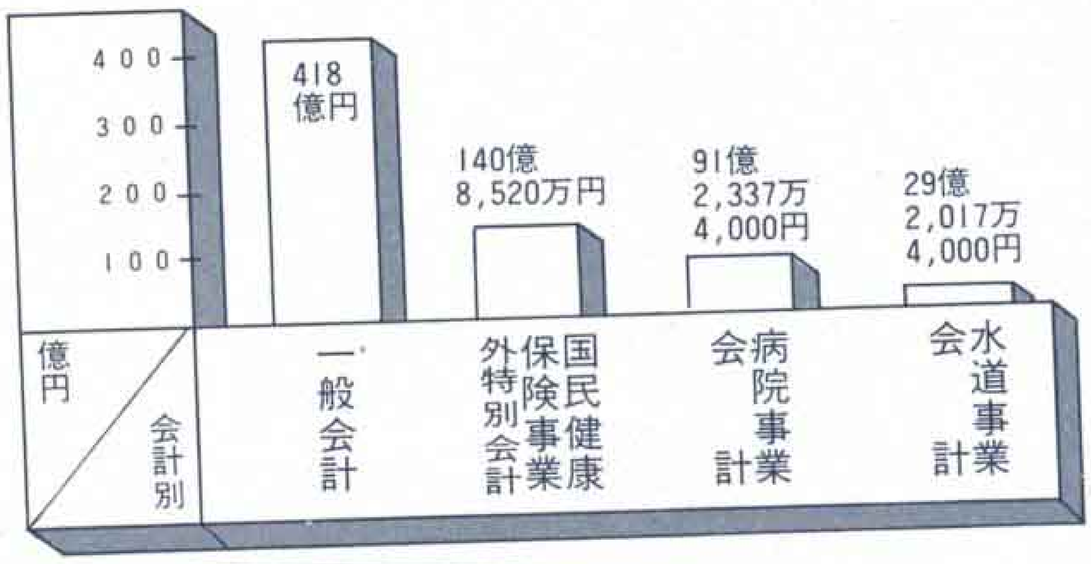
1人当たりの予算額(一般会計)は19万5,905円
1人当たりの市税負担金は11万7,002円

(歳入)

項目	金額	構成比
市税	249億6450万円	59.7%
国・県支出金	54億8,474万3,000円	13.1
市債	36億2,960万円	8.7
諸収入	32億6,562万円	7.8
分担金及び負担金	14億2,250万6,000円	3.4
その他	30億3,303万1,000円	7.3
合計	418億円	100%

総額679億2,874万8,000円

59年度 会計別予算



財政構造の状況

性質別歳出

市有財産はこれだけです

有価証券	2,119万5,000円
土地	4,912万6,948㎡
建物	52万3,270㎡
立木	21万7,393㎥
車両	242台

公営企業財産を除く(59年3月31日現在)

基金の現在高 27億9,202万円

基金の主なものは、国保支払準備基金、土地開発基金、総合社会文化会館基金、財政調整基金です。

地方債の未償還額

一般会計	
大蔵省	68億6,300万1,000円
郵政省	69億1,389万円
金融公庫	29億4,588万4,000円
市中銀行	21億4,841万5,000円
共済組合	11億9,884万8,000円
その他	14億4,732万1,000円
合計	215億1,735万9,000円

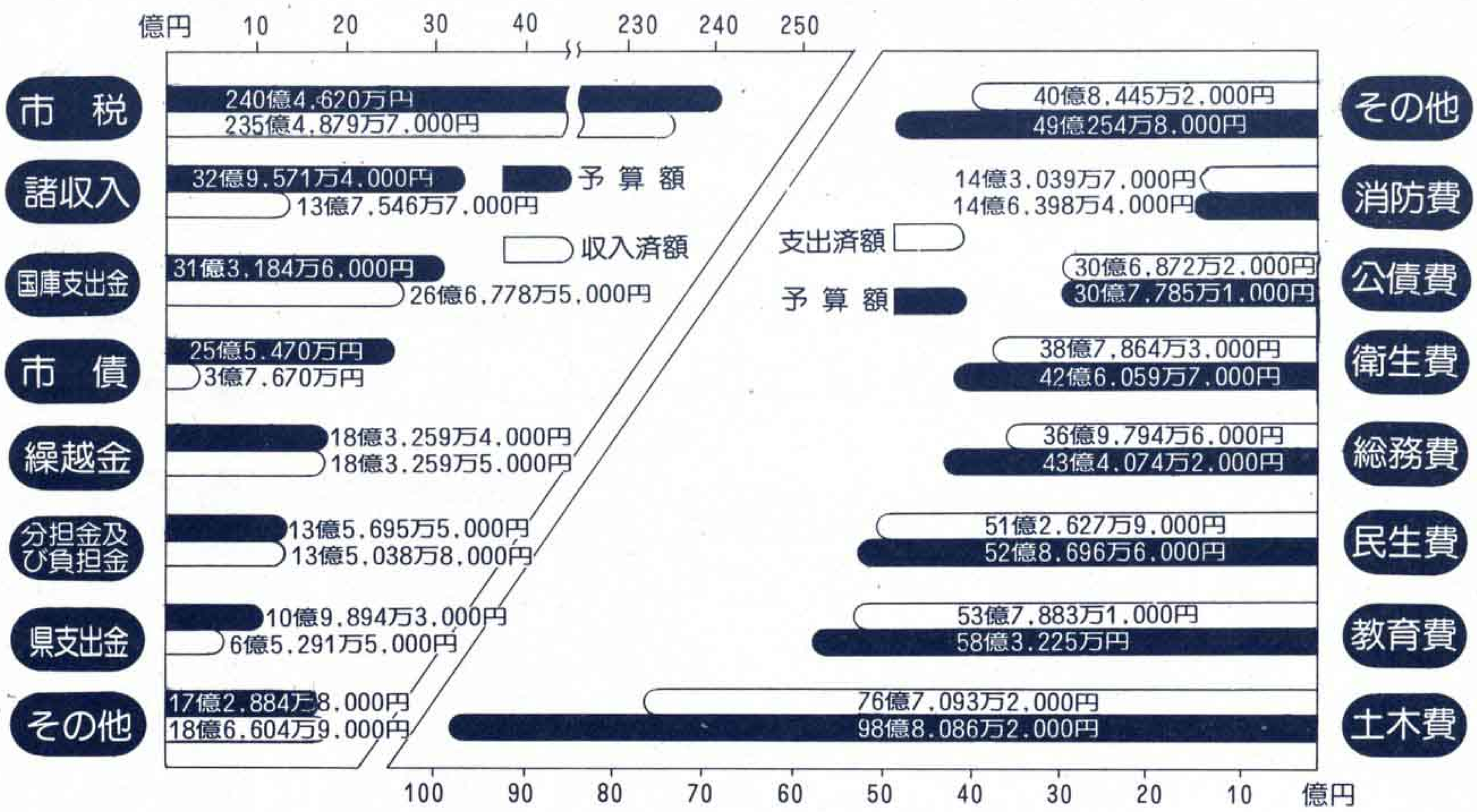
(59年3月31日現在)

昭和58年度の予算及び執行状況

一般会計

歳入　予算総額 390億4,580万円
収入済総額 336億7,069万6,000円

歳出　予算総額 390億4,580万円
支出済総額 343億3,620万2,000円



特別会計					
国保会計	予算額 48億1,600万円 支出済額 41億1,391万7,000円	依田原新田区画整理会計	予算額 2億2,100万円 支出総額 1億7,760万9,000円	駐車場会計	予算額 5,590万円 支出総額 5,194万1,000円
下水道会計	予算額 31億3,100万円 支出総額 25億8,851万2,000円	富士中部区画整理会計	予算額 20億2,360万円 支出総額 18億5,588万5,000円	公共用地先行取得会計	予算額 9,030万円 支出総額 8,993万7,000円
		地方卸売市場会計	予算額 5億5,900万円 支出総額 5億4,717万5,000円	老人保健会計	予算額 34億97万円 支出総額 30億8,404万6,000円

昭和58年度 企業会計の決算状況

☆水道事業

●収入合計	21億3,358万3,000円
営業収益	19億9,192万5,000円
営業外収益	1億3,152万3,000円
特別利益	1,013万5,000円
●支出合計	18億8,455万5,000円
営業費用	14億5,795万3,000円
営業外費用	3億8,727万円
特別損失ほか	3,933万2,000円
●純利益	2億4,902万8,000円

☆病院事業

●収入合計	37億7,749万3,000円
医業収益	33億8,205万5,000円
医業外収益	3億9,543万8,000円
●支出合計	37億1,946万6,000円
医業費用	34億9,270万5,000円
医業外費用	2億2,676万1,000円
●純利益	5,802万7,000円

(昭和58年4月1日～昭和59年3月31日)